



可決された意見書

- 離島・半島地域の振興対策に関する意見書
- IR対策、新幹線対策及び観光振興対策・国際戦略に関する意見書
- ながさき新産業創造に関する意見書
- 緊急事態条項の新設を求める意見書

審査した案件と結果

知事提出の議案	予算……29件(可決)・事件……6件(可決)・諮問……1件(棄却すべき)
	条例……13件(可決)・人事……1件(同意)
議員等提出の案件	発議……1件(可決)

県議会が「緑の募金」街頭募金活動を実施しました!

令和5年3月8日(水)に「緑の募金」街頭募金活動を浜町アーケードで実施いたしました。当日は、40名の県議会議員が参加し、街頭で募金へのご協力を呼びかけました。皆様から寄せいただきました募金額72,877円については、公益社団法人 長崎県緑化推進協会へお届けいたしました。皆様の温かいお気持ちに心より感謝いたします。ご協力ありがとうございました。



議長記者会見

中島廣義議長及び山口初實副議長が、4年間の任期を振り返ってあいさつを述べた後、記者の質問に答えました。中島議長は、新型コロナウイルス感染症への対応が一番印象に残ったと述べ、また、令和元年11月のローマ教皇の本県ご訪問、長年の悲願であった西九州新幹線の開業、離島振興法の改正・延長などに加え、県議会のデジタル化への取り組み、「長崎県立大学との包括連携協定」の締結、議員提案条例である「長崎県ケアラー支援条例」の制定など、活発な議会活動を行い、二元代表制の一翼を担う県議会の公正かつ円滑な議会運営に努めたことと述べ、記者からの最後の議会が終わっての率直な思いなどの質問に答えました。



令和5年2月定例会が開催され活発な論議が交わされました。

令和5年2月定例会は、2月20日から3月17日まで開かれました。開会初日は、3つの特別委員会から委員報告が行われた後、「離島・半島地域の振興対策に関する意見書」など3件の意見書を可決しました。また、「令和5年度長崎県一般会計予算」など48件の議案が一括上程され、大石知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、関連する議案について提案理由の説明を行いました。27日からの一般質問では、12名の議員が登壇し、国民保護訓練、長崎県立大学の取組、スポーツ振興、離島における犬猫殺処分ゼロ対策、ケアラー支援、子ども医療費支援、海洋産業、水産業、農業の振興、長崎のまちづくり、行政手続きのデジタル化に伴う納付手段の見直し、教育行政についてなど、様々な事項について活発な論議が交わされました。令和5年度の当初予算については、先の11月定例会での重点テーマに基づく主要施策案に対する議論、政策評価の結果等を踏まえて編成し、一般会計で7,514億9,937万6600円、特別会計で2,399億3,861万8800円、企業会計で80億7,369万5000円となりました。また、令和4年度一般会計補正予算については、国の総合経済対策補正予算への対応に要する経費、本県独自の経済対策に要する経費、国庫支出金の決定等に伴う事業費の増減、その他年度内に執行を要する緊急な事業費等について計上したため、差し引きで一般会計で105億9,163万円の減額補正となりました。本定例会では、これらの予算を含めた「長崎県議会委員条例の一部を改正する条例」など50件の議案を原案のとおり可決、同意し、諮問議案1件を棄却すべきこととしました。また、「緊急事態条項の新設を求める意見書」など4件の意見書を可決し閉会しました。

一般質問

被爆体験者の全面救済へむけた取組について

坂本 浩 (長崎市/改革21)

【質問】長崎市の黒い雨等に関する専門家の調査報告書に、被爆体験者の救済にむけた取組について、国が期待しているように、今後、どのような対応をするのか。長崎県においても、黒い雨等に関する調査報告書に示された通り、被爆体験者の救済にむけた取組について、国が期待しているように、今後、どのような対応をするのか。長崎県においても、黒い雨等に関する調査報告書に示された通り、被爆体験者の救済にむけた取組について、国が期待しているように、今後、どのような対応をするのか。

国道251号の島原半島西側の防災対策について

中島 浩介 (南島原市/自由民主党)

【質問】国道251号の島原半島西側の防災対策について、今後の防災対策について、どのような対応をするのか。長崎県においても、黒い雨等に関する調査報告書に示された通り、被爆体験者の救済にむけた取組について、国が期待しているように、今後、どのような対応をするのか。

造船業関連企業への支援について

瀬川 光之 (西海市/自由民主党)

【質問】造船業の育成を強力に進めるため、今後どのように支援していくのか。長崎県では、造船業関連企業の設備投資への補助や受注獲得に向けた支援を実施している。今年度も大島造船所と協業企業を連携して取り組むなど、造船業の振興に努めている。今後、造船業の振興に努めている。今後、造船業の振興に努めている。

ケアラー支援について

こう まなみ (長崎市/自由民主党)

【質問】ケアラー支援について、今後の支援について、どのような対応をするのか。長崎県では、ケアラー支援について、今後の支援について、どのような対応をするのか。

健康寿命について

坂口 慎一 (諫早市/自由民主党)

【質問】本県における健康寿命の現状と全国における健康寿命の差について、今後の健康寿命の延伸に向けた取組について、どのような対応をするのか。長崎県では、健康寿命の延伸に向けた取組について、どのような対応をするのか。

畜産飼料の国産化について

北村 貴寿 (大村市/自由民主党)

【質問】畜産の自給飼料増産に向けた取組について、今後の飼料の増産について、どのような対応をするのか。長崎県では、飼料の増産について、どのような対応をするのか。

長崎大学のまちなか移転について

浦川 基継 (長崎市/自由民主党)

【質問】長崎大学のまちなか移転について、今後の移転について、どのような対応をするのか。長崎県では、長崎大学のまちなか移転について、今後の移転について、どのような対応をするのか。

水産業の振興について

溝口 芙美雄 (佐世保市・北松浦郡/自由民主党 県民会議)

【質問】水産業の振興について、今後の振興について、どのような対応をするのか。長崎県では、水産業の振興について、今後の振興について、どのような対応をするのか。

県都長崎市の連携の在り方について

赤木 幸仁 (長崎市/改革21)

【質問】県と市の役割分担について、今後の連携について、どのような対応をするのか。長崎県では、県と市の役割分担について、今後の連携について、どのような対応をするのか。

夜間中学の設置について

宮本 法広 (佐世保市・北松浦郡/公明党)

【質問】夜間中学の設置について、今後の設置について、どのような対応をするのか。長崎県では、夜間中学の設置について、今後の設置について、どのような対応をするのか。

改正離島振興法を踏まえた交通の確保について

鵜瀬 和博 (長崎市/自由民主党)

【質問】改正離島振興法を踏まえた交通の確保について、今後の交通の確保について、どのような対応をするのか。長崎県では、改正離島振興法を踏まえた交通の確保について、今後の交通の確保について、どのような対応をするのか。

失語症者向け意思疎通支援事業

響庭 敦子 (西彼杵郡/改革21)

【質問】失語症者向け意思疎通支援事業について、今後の支援について、どのような対応をするのか。長崎県では、失語症者向け意思疎通支援事業について、今後の支援について、どのような対応をするのか。

常任委員会 委員長報告

予算決算委員会 委員長/松本 洋介

【質問】「医療人材の確保」に関して、本県は診療科偏在が顕著で、特に、産科や小児科が不足しており、安心して出産・子育てができないのではないかと、偏在解消に向け、より一層注力する必要があると考えるがどうか。【答弁】これまで離島を中心に、いかに地域の偏在を解消するかを中心に取り組んできたが、今後はその取組に加え、中長期的な視点で、産科・小児科・救急の医師の確保が重要と考えている。そのため、来年度から実態調査を行い、ワーキンググループ等で踏み込んだ議論を行い、偏在解消に向け、取り組んでいく。【主な論議事項】本県の財政状況及び財政運営/観光振興/農業、水産業の振興 等

農水経済委員会 委員長/山下 博史

【質問】「びわの寒害」に関して現地調査を行い、生産者から状況をお聞きしたところですが、現時点で県や市、JAがどのような支援をしているのか。また、今後の災害への備えや農地整備等の支援について、県の考えは。【答弁】当面の対応として、現在生き残っている果実をしっかりと育て、出荷し、今年の収入確保につながるべく、市及びJA等、関係機関と連携し、追加的な薬剤の散布や生き残った果実への袋掛けなどの技術指導を行っている。今後の取組としては、災害に対する備えを強化していく必要があることから、園地の基盤整備や保温のための簡易ハウス等の整備、既存ハウスの補強、老木の改植に対する支援について検討していく。

観光生活建設委員会 委員長/石本 政弘

【質問】「動物殺処分ゼロ」に向けたロードマップの策定」に関して、殺処分ゼロに向けた3つの課題である収容数の削減、収容動物の譲渡推進、市町や県民の参加と連携強化について、目指す姿と施策の方向性、具体的な施策展開を示していただいた。その中で、入口対策である収容数の削減では、野良猫が増えないよう不妊化をどのように拡充していくか。【答弁】令和4年度は県内の動物病院で434頭の不妊手術を行ったが、手術できる数に限度がある。令和5年度以降の700頭から始まる不妊化計画について、動物病院で賄えない分は、アニマルポートで手術を実施することとしている。【主な論議事項】最低制限設計価格の見直し 等

文教厚生委員会 委員長/下条 博文

【質問】令和7年度の完成を目指し、県立大学佐世保校の新キャンパス建設が進んでいるが、県民の生涯学習やリカレント教育のニーズも高まっている中で、地域に根差す取組として、今後どのようなことを計画しているか。【答弁】佐世保校には、地域の方の利用を想定した地域交流棟を建設しており、地域住民の生涯学習の場としての活用を考えている。また、令和5年度からは、地域のニーズを踏まえたリカレント教育向けの公開講座も計画しており、広く県民の利用を促していきたいと考えている。【主な論議事項】新型コロナウイルス感染症スクリーン事業/市町村立学校県費負担教職員定数条例及び県立学校職員定数条例の一部を改正する条例 等

総務委員会 委員長/中島 浩介

【質問】「二重電話詐欺被害防止対策」に関して、全国各地で強盗被害が起きている中で、資産を持っている方などの名簿が把握されているとの情報があるが、名簿の対象者が県内にあることを把握した場合、どのような対応をとっているのか。【答弁】コールセンターを開設している期間中は、同センターのオペレーターが対象者に対して、注意喚起の電話連絡をするのと同時に、同センターから葉書の送付を行っている。県費でも同様の対応を行うとともに、警察官が対象者を訪問し、直接注意喚起を行っている。【主な論議事項】内部組織の設置に関する条例の一部を改正する条例/こんな長崎でかんです会/マイナンバーカード/ドローン/サミット 等

特別委員会の意見書

ながさき新産業創造特別委員会 委員長/響庭 敦子

「ながさき新産業創造に関する意見書」において、①アフターコロナ対策について、県内中小事業者等の資金繰り支援、燃油や資材価格高騰を踏まえた農林漁業者の経営継続対策、観光・物産等の効果的な情報発信 ②人口減少・少子化・人材育成対策について、県内企業の魅力や採用力向上に対する支援、市町との連携による移住促進、本県のイメージ向上につながる情報発信 ③新産業・再生可能エネルギー振興対策について、新たな基幹産業創出のための支援強化、洋上風力関連産業に係る県内企業の取組拡大支援、県内半導体関連産業の集積に必要な予算の充実、脱炭素社会の実現に向けた取組強化 ④DX・デジタル化対策について、デジタル田園都市国家構想を踏まえた施策の展開、デジタル人材の育成及び受け皿の環境整備、スマート農業、水産業の推進などを要望した。

観光・IR・新幹線対策特別委員会 委員長/中村 一三

「IR対策、新幹線対策及び観光振興対策・国際戦略に関する意見書」において、①IR対策について、IRに対する県民の理解促進、キャンブル依存症対策や治安維持等の対策、公共交通や道路、港湾等の整備、長崎空港の施設整備や機能拡充、昨今の社会情勢やアフターコロナを見据えた柔軟な対応 ②新幹線対策について、一刻も早い新鳥栖-武雄温泉間のフル規格による整備の実現、財源確保や並行在来線等の諸課題の解決、開業効果を最大限に高め県内各地への波及拡大 ③観光振興対策・国際戦略について、新たな旅行需要への対応、県内や近隣県からの誘客、教育旅行の誘致、観光コンテンツの充実、受入態勢の強化、多様な魅力や安全・安心の情報発信、外国人材受入等の促進、国際クルーズ、国際定期航空路線の早期運航再開などを要望した。

離島・半島地域振興特別委員会 委員長/久保田 将誠

「離島・半島地域の振興に関する意見書」において、①離島・半島地域振興対策について、改正離島振興法を踏まえた更なる振興、市町の支援、実効性のある離島振興計画の策定、後継者不在の企業の事業承継の支援、地域産業雇用創出チャレンジ支援事業の効果的な周知、長崎UMAのウェブサイトの閲覧を伸ばす取組、誘客のための情報発信 ②有人圏離島振興対策について、人口の社会増減の要因の分析と検証、航空・航空路の運賃低廉化支援制度の充実、漁業就業者の確保対策 ③離島地域航空・航空路対策について、離島地域航空・航空路の維持に向けた支援・取組 ④関係人口拡大対策について、ワーケーション受入、高校生の離島留学生の受け皿の体制整備、観光客の増加やリピーター確保につながる地域の魅力を発信することなどを要望した。